

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和07年06月10日(火)

事務事業		消防署資器材管理事業		担当課	深谷消防課	担当係	深谷消防署	管理番号	54111	
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	1	備えができて安全・安心なまちづくり	根拠法令 個別計画等	消防法					
	小項目	2	消防・救急体制の充実							
	主要プロジェクト									
事業概要		住民の生命、身体及び財産を守るために火災、救急、救助等の災害活動時や訓練時に使用する資器材の購入、更新、修繕及び保守点検を実施し、多種多様な災害現場に対応できるよう活動体制を整備するものである。								
目的 ※何のために		災害から住民の生命、身体及び財産を守るため。								
対象 ※誰・何を対象に		隊員が災害活動時または訓練時に使用する資器材等。								
手段 ※どのように		資器材の購入、更新、修繕及び保守点検を実施する。								
成果 ※何を求めるか		活動体制を整備し消防力の強化を図る。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NP0等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	9	消防費	1	消防費	1	常備消防費	消防署資器材管理事業	20,604,771
本事業の 主な業務		・各種資器材の購入及び更新					・			
		・各種資器材の保守点検					・			
		・各種資器材の修繕					・			
		・災害対策に関する消耗品及び備品の整備					・			
		・					・			
		・					・			

2. 事業費(投入コスト)

※令和6年度は決算見込み額です。

単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		・空気ポンベ・消防ホース	・空気ポンベ・消防ホース	・空気ポンベ・消防ホース・潜水資器材	・空気ポンベ・消防ホース・潜水資器材・除染資器材		
事業費	予算(現額)	8,778,000	12,508,000	20,804,000	25,653,000		
	決算額	8,648,724	12,245,042	20,604,771	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	159,000	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	1,984,603	2,972,208	9,844,007	5,532,000	
		一般財源	6,664,121	9,113,834	10,760,764	20,121,000	
人件費	従事職員数(人)	1.00	0.80	1.00	1.50		
	人件費相当試算※	7,869,557	6,408,132	8,222,241	12,791,730		
総事業費試算		16,518,281	18,653,174	28,827,012	38,444,730		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	備品購入品目数		目標値	品目	4.00	4.00	9.00	10.00		
			実績値		3.00	4.00	9.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所			消防資器材整備方針に基づく購入品目数とする。 / 備品購入品目数						
	実績値の算出式									
活動指標 2	保守点検実施率		目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00		
			実績値		100.00	100.00	100.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所			呼吸・循環管理用資器材等の保守点検実施率 / 保守点検品目数／実施数×１００						
	実績値の算出式									
成果指標 1	資器材故障時における修繕率		目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00		
			実績値		100.00	100.00	100.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所			資器材の故障に対する１００％の修繕を目標とする。 / 修繕数／故障件数×１００						
	実績値の算出式									
成果指標 2	災害時における資器材作動率		目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00		
			実績値		100.00	100.00	100.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所			災害時における資器材１００％の作動を目標とする。 / 使用数／災害数×１００						
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
 (評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	各隊が使用する資器材の備品について消防資器材整備方針を基に計画的に購入し配備することができた。また、呼吸・循環管理用資器材等の保守点検について実施することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	各種資器材に故障等による異常があった場合、修繕や更新に伴う対応を適切に実施したことで、災害時における資器材の作動率100%を達成した。
			評価者 課長補佐兼管理係長 池田 忠勝

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 (評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	救急隊が現場で使用する救急消耗品の受領について、救急需要の増加に伴い不測の事態を避けるため、病院からの帰署途中や出向時の際、自由に受領できる体制を構築した。救急消耗品の倉庫を品目ごとに陳列、どの隊が何を受領したのかが解るようICTを活用しデータ管理を行った。これにより、現場で使用する救急隊の消耗品が常に充足され、業務の効率化に繋がった。
			評価者 課長補佐兼管理係長 池田 忠勝